

『回天映像制作 & シンポジウムプロジェクト』

日本文理大学 工学部 情報メディア学科 小島 康史・星芝 貴行 研究室
大分県大分市日出町・大神回天会・ひじ町ツーリズム協会

●事業の目的：大分県日出町大神には、戦争遺構である人間魚雷「回天」の資料や模型を常設展示する「回天大神訓練基地記念公園」があり、日出町を訪れる観光客や地域の小学校の平和教育に利用されている。しかしながら回天についての紹介動画が無いことが課題とされており地域から待望されている。本年は戦後80年という節目の年であることから、平和への想いを絶やさないためにも学生と現地を視察して短編動画を制作し、ひじ町ツーリズム協会や地域の小学校での教材に役立てていただくために動画を制作する。さらに完成した動画を、日出町の公民館等で上映・シンポジウムを行うものとした。日本文理大学の小島・星芝研究室は映像及び音響制作を専門とするゼミなので、学生から本動画制作の要望が強くあり、またこれまでに制作した動画には回天関係の映像もあることから映像制作は可能である。

●事業の内容：大神回天会およびひじ町ツーリズム協会の協力を得て、人間魚雷「回天」に関する調査を行い、戦後80年となるこの年に、生前の方々とその関係者のインタビュー等を行い、撮影と編集を繰り返し、ドキュメンタリー映像「人間魚雷一回天の記憶」を制作した。2025年8月3日（日）に、日出町保健福祉センターの多目的ホールにて、上映会およびシンポジウムを開催した。



制作したドキュメンタリー映像「人間魚雷一回天の記憶」と 告知ポスター および 大分合同新聞記事

●事業の成果：映像上映には全て字幕を付け、またシンポジウムにも手話通訳者の協力を得て、ろう者にも対応することができた。来場者は想定していた人数の倍以上の100名以上となった。実施後、大分合同新聞、読売新聞、熊本県民テレビ、OBSラジオのメディアにも対応し、来場者を含め多くの方々に戦争や回天の実態を伝えることができた。更に、関係する各学校へのDVD配布も行い、若い世代への戦争の記憶を残すことに期待が出来ることとなった。



実施後に掲載された大分合同新聞記事（左）と 読売新聞記事（右）



熊本県民テレビからの取材（左）と OBS ラジオでの収録（中央）と 制作・配布した DVD（右）